

製品名: リン酸化 Rb (Ser807) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87447

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:106 kDa; Observed MW:110 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-Rb
別名	RB; pRb; OSRC; pp110; p105-Rb; PPP1R130
遺伝子 ID	5925
SwissProt ID	P06400
免疫原	ヒト Rb の Ser807 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

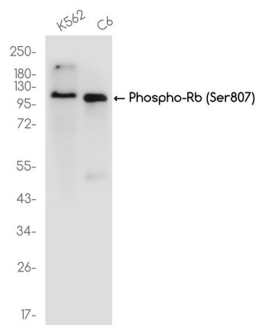
この遺伝子によってコードされるタンパク質は細胞周期の負の調節因子であり、初めて発見された腫瘍抑制遺伝子です。このタンパ

ク質はまた、恒常性ヘテロクロマチンを安定化させ、クロマチン全体の構造を維持します。活性型（低リン酸化型）のタンパク質は転写因子 E2F1 と結合します。この遺伝子の欠陥は、小児がんである網膜芽細胞腫（RB）、膀胱がん、および骨肉腫の原因となります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



1:1000 の Phospho-Rb (Ser807) ウサギモノクローナル抗体を使用した K562、C6 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。